

本願力

横浜別院だより

【東京教区報恩講（真宗会館）】



〒234-0051

【発行】真宗大谷派 本願寺横浜別院

横浜市港南区日野一―十一八

(〇四五) 八四一―三四三〇

FAXTEL (〇四五) 八四一―三四二八
(<http://www.yokohama-ootani.com>)

慶喜奉讃せしむべし

輪番 森田 成美

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要厳修の春を迎えました。

三月二十五日から四月八日迄の第一期法要、四月十五日から四月二十九日迄の第二期法要、その間の四月九日から四月十四日は讃仰期間として、本山真宗本廟に於いて各法要を始め、様々な慶讃事業が催される事であります。

皆さまは、どのような御縁を結んでいただけでしょうか。上山参拝いただくことが一番願われる事ではありますが、その事が叶わぬ場合であっても慶讃法要の御縁は大切にしていただきたいと思うことでもあります。

親鸞聖人は聖徳太子の徳を讃えた御和讃の中で、「慶喜奉讃せしむべし」の句の慶喜奉讃の横によるこびてほめたてまつるべしなりと仮名を打っておられます。慶讃法要の慶讃はここからいただかれていますので、私（たち）が宗祖親鸞聖人の御誕生と立教開宗を、よろこびてほめたてまつる

とはどういうことか、そのことを尋ね、確かめていくことが慶讃法要に縁を結ぶ第一義ではないでしょうか。

慶讃法要の願いはテーマとして示されています。

「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」

あらためて、これまでの大法要のテーマを振り返ってみますと、

一九七三年の御誕生八百年・立教開宗七百年慶讃法要は、

「生まれた意義と生きる喜びを見つけよう」

一九九八年の蓮如上人五百回御遠忌法要は、「バラバラでいっしょ、差異をみとめる世界の発見」

二〇一一年の宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要は、

「今、いのちがあなたを生きている」でした。

南無阿弥陀仏がテーマとして示されたのは今回が初めてですが、全てのテーマは南無阿弥陀仏によってこそ成就する願いであることを示しているのではないのでしょうか。生まれた意義と生きる喜びが、バラバラでいっしょ差異をみとめる世界の発見が、今、いのちがあなたを生きているが、そして、人と生まれたことの意味をたずねていこうという願いが南無阿弥陀仏のはたらしに依って、私（たち）の歩みとなって成就するのではないのでしょうか。慶讃法要を大切な御縁としていただいていきたいと思えます。

— 各法要 (おつとめ・ご法話) のご案内 —

～どなたもご自由にお参りください～

定例法話 午後1時30分より

3月9日(木)横浜組 長慶寺 中村良照 師
3月28日(火)別院 列座 家本久和
4月9日(日)三浦組 光龍寺 宮川正道 師
4月28日(金)別院 列座 佐竹大樹
5月9日(火)川崎組 閑窓寺 木越堅信 師

※5月28日の定例法話は休みです

※法話終了後の「座談会」は5月より再開します。

正信偈の会 (お勤めのお稽古)

5月18日(木) 午後1時30分～3時
8月18日(金) 午後1時30分～3時
11月18日(土) 午後1時30分～3時

※2020年9月より休止していましたが5月より再開します。内容は、正信偈のお稽古を中心に行ないます。講師は別院僧侶が務めます。

事前申し込み不要です。初心者歓迎♪

《持ち物》念珠、赤本等の勤行本。※勤行本をお持ちでない方はこちらで準備します。

横浜別院同朋の会・おみがき会

6月17日(土) 10時30分～12時

本堂の仏具を磨きます。軽食あり。

※古くなったタオルをお持ちください。

【参詣者の皆様へ】

新型コロナウイルス対策として、参詣者の皆様にはマスク着用、咳エチケットや手洗い・うがいの励行など、十分な予防対策をお願いしております。ご協力お願い致します。

春季彼岸会法要 午後1時30分より

3月23日(木)・24日(金)

【法話】名倉 幹 師

(真宗大谷派北米開教使)

お彼岸は、浄土に還っていかれた亡き人を偲ぶと共に、自分の生活を振り返る大切な時です。

有縁の皆様におかれましては、ぜひご参詣ください。

永代経法要 午後1時30分より

5月28日(日)・29日(月)

【法話】海 法龍 師 (三浦組長願寺住職)

この法要は、私までのちを届けてくださった先輩・先達に想いを馳せ、そこに相続されてきた本願のみ教えを聞きひらき、私の人生を問い直す大切な御仏事であります。

末法濁世の様相を呈して混迷を深めていく現代社会にあって、いよいよ真実の教法に照らされて生きることが願われるのであります。どうぞご参詣ください。

グリーンケアのつどい

【日時】 4月15日(土) 午後2時～
6月17日(土) 午後2時～
8月5日(土) 午後2時～

突然起きてくる人間の悲しみに共感を求めてグリーンケアを行なっています。

※参加費・申し込みは不要です。

詳細はチラシをご覧ください。

編集後記

コロナ下からおよそ三年が経ちますが、収束のきざしが見えてきました。先日政府は、三月十三日からマスク着用は個人の判断によるところとなり、また新型コロナウイルス感染症の位置づけを現在の「2類相当」から「5類」に移行する方針を発表しました。これまでを数えると、第8波まで経験したことになりましたが、やはり失われたものは大きかった。と誰もが思うことでしょう。そして、コロナ下が終わったとしても、以前のように元通りになることもありません。諸行無常なんではないでしょうか、やり切れない思いがあります。さて五月より、法話後の座談会と正信偈の会を再開することになりました。もう一度始めから積み上げられるのは、中々しんどいですが、皆さまと共に少しずつ積み上げていければと思います。どうぞ、ご参加下さい。(家本)